

第7号様式(第13条関係)

令和3年(2021年)4月11日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長殿

住 所 伊勢原市三ノ宮 362-6 三上方

団体名 太田道灌を大河ドラマに！

推進実行委員会

代表者名 実行委員長 三上利栄

令和2年8月19日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了したので、伊勢原市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定より、関係書類を添えて次の通り報告します。

1. 協働事業

協働事業名	太田道灌を大河ドラマに！推進実行委員会
事業費総額	222,483 円
事業期間	自令和2年4月1日至令和3年3月31日
実施場所	伊勢原市内、特に役員会や講座などは中央公民館や社協会議室。
参加者数	1,000人以上（実行委員会24回開催、観光ガイド養成講座、文化庁の財助成金講座、自治体折衝、賛同個人団体訪問など）
事業実施内容及びその成果	<p>①コロナ情勢の下、緊急以上宣言の中、大運動が展開できず、道灌の集いも開催できずに特に署名のテンポののろさと資金調達に苦勞したが、市民協働事業としては粘り強き活動して署名は26万2350筆に前進させ、賛同自治体も東大和市と、水戸市長も賛成あり大きな成果、展望が出てきている。</p> <p>②文化庁の助成金で観ボラが発行した冊子「伊勢原と太田道灌」は伊勢原市はもちろん神奈川県下全地域、厚木、愛川、清川から多くの注文があり、観光協会の協力だけでも1200冊が普及できたことと冊子希望者に署名要請、呼応あり大成果であった。</p> <p>③コロナ禍下では、大宣伝行動、講演、集いが制限されたが、道灌講座を観光ガイド講座で、文化庁の歴史遺産助成事業でも実施して次なる力の蓄積を計った。</p> <p>④埼玉・越生駅前に設置された太田道灌像(伊勢原市役所正面のものと同じもの)に大河ドラマ推進の1つとして町長とも会いお願いし協力してきた。</p> <p>⑤コロナ情勢でNHKの陳情が実現できなかったのは残念である。</p>

* 諸資料添付、①収支決算書、②領収書等の写し、③その他必要なもの。

第4号様式(第6条)関係

市民協働事業決算書

令和3年4月8日

協働事業名	太田道灌を大河ドラマに!放映を実現する運動
団体名	太田道灌を大河ドラマに!推進実行委員会

収入の部

区分	金額	摘要
賛同団体助成金	70,000円	太田道灌顕彰会賛助金
市の助成金	100,000円	市の助成金
一般募金	48,643円	5人からの募金
雑収入	3,840円	雑収入、冊子郵送のカンパ
計	222,483円	

支出の部

区分	金額	摘要
講師料	6,000円	講資料負担分
宣伝費	16,500円	タウンニュース広告費
事務所費	14,080円	看板、本代等
消耗品費	14,323円	インク、紙など
通信費	128,180円	関東道灌関連の自治体などの切手代
交通費	43,400円	車代など
用具費	0円	コロナで活動制限のために購入せず
計	222,483円	

